



平成 28 年 3 月 8 日

各 位

会 社 名 飯田グループホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西河 洋一  
(コード：3291 東証第一部)  
問合せ先 執行役員財務部長 中辻 満壽雄  
(TEL. 03-5989-0925)

## 2020 年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債に関する資金使途変更のお知らせ

当社は、平成 27 年 6 月 2 日付「2020 年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、平成 27 年 6 月 18 日に 2020 年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債（以下、「本新株予約権付社債」といいます。）の発行により資金調達をしましたが、今般、調達した資金の使途につきまして下記のとおり変更しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 変更の理由

当社グループは、飛躍的な成長に向けたゆるぎない事業基盤づくりのため、コア事業の競争力強化に取り組んでおります。この一環として、平成 27 年 6 月 2 日付のお知らせにおいて、本新株予約権付社債の発行により調達した資金約 30,000 百万円を、ファーストウッド株式会社の借入金の返済とファーストウッド・プリモリエの設備投資資金に充当することを予定しておりました。

ファーストウッド株式会社には、当初、借入金の返済資金に 20,000 百万円を充当する予定でしたが、10,000 百万円を充当した現段階において、ファーストウッド株式会社の事業体制の整備、管理体制等の再構築に努めていること、また、ファーストウッド株式会社自身の足元及び将来の業績が当初予想より堅調に推移するとの見通しの中で、金融収支及び財務体質は今後も改善すると想定されます。今後も事業環境の変化に応じて資金を充当する可能性もございますが、現状においては、ファーストウッド株式会社の経営の安定化を通じた当社グループの安定的な資材調達という当初の目的は一定程度達成されたと考えております。

一方、当社グループが積極的な事業展開を図っている中において、今般、海外及び国内において有望な成長機会が見込まれる状況となったため、本新株予約権付社債の発行により調達した資金の一部をインドネシア、フィリピン、米国等の海外拠点の設立及び事業運営資金並びに国内事業基盤の更なる強化等に充当することの方が、今般調達した資金の全額を子会社 2 社のみで充当するよりも当社グループの企業価値向上に資すると判断しました。

上記の理由から、本新株予約権付社債の発行により調達した資金約 30,000 百万円については、20,000 百万円をファーストウッド株式会社の借入金の返済及び、ファーストウッド・プリモリエの設備投資資金に充当し、残額を当社グループの更なる成長を見据えた海外及び国内事業拡大のために使用することを決定いたしました。

## 2. 変更の内容

本新株予約権付社債の発行により調達した資金の用途の変更は以下のとおりです。

### 【変更前】

本新株予約権付社債発行による手取金 30,093 百万円については、20,000 百万円を平成 28 年 3 月末までに、ファーストウッド株式会社が設備投資を目的として実施した金融機関からの借入れの返済資金に充当し、残額を平成 30 年 3 月末までに、ファーストウッド・プリモリエが実施する木材工場建設のための設備投資資金に充当する予定です。

### 【変更後】

本新株予約権付社債発行による手取金 30,093 百万円については、20,000 百万円を平成 30 年 3 月末までに、ファーストウッド株式会社の設備投資を目的として実施した金融機関からの借入れの返済資金及び、ファーストウッド・プリモリエが実施する木材工場建設のための設備投資資金に充当し、残額を平成 30 年 3 月末までに、インドネシア、フィリピン、米国等の海外拠点設立及び事業運営資金並びに国内事業基盤の更なる強化等に充当する予定です。

## 3. 業績への影響

本件による当社連結業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上